

生インフルエンザ 予防接種

インフルエンザワクチンに新しい形状が誕生しました。点鼻による生ワクチンです。

接種は1回ですし、痛みを伴わない点が有利です。

当院でも接種できますので、どうぞご検討ください。



予防接種の注意・お願い

予防接種を安心して受けるために、いくつかのことを心がけてください。

- 受ける予防接種について、病気のことやワクチンの効果・副反応などについて、あらかじめ知っていてほしいと思います。市町村からの文書や、育児書（雑誌）なども参考にしてください。分からないことなどがありましたら、会場の職員や医師にたずねてください。
- 健康状態の良い時に受けましょう。心配なときは無理せずに延期したり、医師に相談してください。
- 前日は入浴して、体を清潔に。
- 予診票は、良く読んで、きちんと記入しましょう。
- 母子手帳も忘れずに。（個別接種では、念のために保険証も）
- 接種の会場で、体温を測り、記入します。
- 予期できない重篤な副反応が、注射のあと15～30分以内におきることがあります。すぐに帰らず、しばらく会場で様子を見ていてください。
- 接種の当日は、入浴をふくめていつもと同じ生活でいいのですが、激しい運動はさけてください。



インフルエンザは毎年、冬から春先にかけて大きな流行をくりかえす感染症です。**突然の発熱**で始まりますが、ほかの「かぜ」にくらべて、**全身症状が強い**という特徴があります。高熱、頭痛、体のだるさ、寒気、吐き気、筋肉痛などが急激に襲います。小児では、**脳症や心筋炎などの危険な合併症**があります。高齢者は抵抗力が弱いいため、肺炎などの合併症をおこしやすく、多くの方が死亡しているということで社会問題になりました。

インフルエンザのワクチンは、これまで不活化ワクチン（注射）のみでしたが、この度生ワクチン（点鼻）ができました。これは1回の接種（点鼻）でワクチンウイルスの増殖阻害作用、上気道・下気道の感染防御作用が確認されています。大きな副作用はないようです。

注射に寄らないワクチン接種が可能です。

接種に当たっては年齢の制限などがありますので、ご注意ください。

生インフルエンザの予防接種（フルミスト点鼻）

- ・接種対象者
2歳～19歳未満
- ・方法
両鼻腔に0.1mlずつ。1回。
- ・接種できない方
妊婦（妊娠の直前直後を含む）
免疫不全あるいは免疫抑制をきたす治療を受けている方
ご家族などに重度の免疫不全のある方
- ・任意接種です。

このワクチンは次の3価が含まれています。

- ・A/ ノルウエー /31694/2022(H1N1)
- ・A/ パース /722/2024(H3N2)
- ・B/ オーストリア /1359417/2021（ビクトリア系統）

予防接種を受けたあとの注意

※予防接種の副作用として、ごくまれに、接種の直後に急に具合が悪くなることもあります（**アナフィラキシー・ショック**）。万一のために15分程度は医院の中にいていただき、そのあともしばらくは医院にすぐひきかえせるようにしててください。（その場で適切な処置をすれば、最悪の事態はさけられます。）

フルミストは点鼻の生ワクチンです。

他のワクチンとの接種間隔に制限はありません（他の生ワクチンと4週間空ける場合もあります）。

生インフルエンザ・ワクチン

- ①とくに生活上の制限はありません。
- ②今日は普通の生活をしてください（**入浴はかまいません**）。
- ③接種したあと数日後に感冒症状を出すことがあります。ほとんどはそのままでおさまります。